

2020年4月13日

公益社団法人 日本臨床工学技士会
会員 各位

公益社団法人 日本臨床工学技士会
理事長 本間 崇

新型コロナウイルスの感染拡大に対する医療機器の保守点検・管理等について (第3報)

今後、日本国内においても新型コロナウイルスによる感染者が大幅に増加することが懸念され、当該患者の診療に用いる医療機器の確保が課題となっております。

会員諸氏におかれましては、下記のとおり、対応いただくようお願いいたします。

記

1. 廃棄予定の医療機器の確保について

- 1) 廃棄を計画している医療機器について、新型コロナウイルス感染の終息が見られるまで保管すること
対象と考えられる医療機器は、人工呼吸器、ECMO装置、生体情報モニタ、輸液ポンプ、シリンジポンプ、血液浄化装置等、当該患者の診療に用いるもの

2. 廃棄予定機器の使用について

- 1) これら医療機器を使用する場合には、適切に保守点検を行うこと
- 2) 日常的に使用していない型式等を用いる場合には、必要に応じてスタッフに研修を行うこと

以上

参考：

- 1) 令和2年4月10日付 事務連絡「新型コロナウイルス感染症の患者数増加に備えた人工呼吸器等の十分な確保について (依頼)」
<https://bit.ly/2wCcDvD>